

公民館ほんの森だよ!

No.1

児童版

4月23日は「子ども読書の日」

ひらたむらほけんしょうがいがくしゅうせつ 平田村保健生涯学習施設ハレスコの図書コーナー「ほんの森」が4月1日に開館しました。
あたらしんとしよがりましたのでぜひ利用してください。

また、4月23日は『子ども読書の日』。そして毎年4月23日～5月12日は『こどもの読書週間』です。今年のキャッチフレーズは「ひらいてとした。笑顔がふえた」

子どもに読書をすすめるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。



しんかんとしよ あんない 新刊図書の案内

★児童書

☆はちやめちやにゆうがくしき!

へのカッパ先生がはじめて小学校にやってきたお話だよ。

○『へのへのカッパせんせい①』

☆あたふたきゅうしょくだいさくせん!

きゅうしょくのトラブルをへのカッパ先生が大かいけつ!?

○『へのへのカッパせんせい②』

○『へのへのカッパせんせい③』

著 榎本学ウ/小学館

☆水木しげる先生が絵やまんが、文章で教えてくれる妖怪教科書!

○『完全復刻版 妖怪なんでも入門』

著 水木しげる/小学館

○『ふしぎ駄菓子屋銭天堂 15・16・17・18・19』

著 廣嶋玲子/偕成社

○大ピンチずかん

著 鈴木のりたけ/小学館

☆登場するのは動物ばかり。人間はひとりも出てきません。

○『二番目の悪者』

○『せかいいちのいちご』

著 林 木林 /小さい書房

☆「進化のふしぎ」おもしろ入門!

○そっくりなのにぜんぜんちがう世界—まぎらわし動物図鑑

監修 今泉忠明/小学館

★絵本

☆「しちゃダメ!」っていわれたら…したくならない? くまさんとアリバカさんとねこさんは…したくなっちゃったんです。

○「かぼちゃスープのおふろ」

著 柴田ケイコ/小学館

おいしそうな「食べ物」の楽しいしかけ絵本

○「しかけえほん たべもの」

陸・海・空の「乗り物」のしかけ絵本

○「しかけえほん のりもの」

絵 わらべきみか/小学館

公民館ほんの森だよ!

No. 1

一般・YA版

平田村保健生涯学習施設ハレスコの図書コーナー「ほんの森」が4月1日に開館しました。
今までの図書カード（ピンク色）を持っている方は、そのカードで本が借りられますのでぜひ利用してください。また、図書カードをお持ちでない方はご来館の際にご登録ください。登録は平日 17時までです。都合がつかない場合は公民館までご連絡ください。

新刊図書の案内

★一般書

☆第168回芥川賞 受賞作品

あの災厄から十年余り。男はその地をさまよひ続けた。

○『荒地の家族』

著 佐藤厚志/新潮社

☆思い出すことは世界に出会い直すこと。静かな感動がこみあげる傑作!

○『この世の喜びよ』

著 井戸川射子/講談社

☆第167回直木賞 受賞作品

心の揺らぎが輝きを放つ傑作

○『夜に星を放つ』

著 窪美澄/文藝春秋

☆第168回直木賞 受賞作品

繰り返し訪れる愛する者との別れ。それでも彼女は運命にあがなう大河長編物語。

○『しろがねの葉』

著 千早茜/新潮社

☆日露戦争前夜から第2次大戦までの半世紀、満州の名もない都市で繰り返される知略と殺戮

○『地図と拳』

著 小川哲/集英社



☆2023 本屋大賞ノミネート作品

私は愛する男のために人生を誤りたい。その愛は、あまりにも切ない。正しさに縛られ、愛に呪われ、それでもわたしたちは生きていく。

○『汝、星のごとく』

著 凧良ゆう/講談社

二人が出会った、たった一つの運命。切なくも美しい、四半世紀の物語——

○『光のところにいてね』

著 一穂ミチ/文藝春秋

9人のうち、死んでもいいのは…死ぬべきなのは誰か? タイムリミットまでおよそ1週間。それまでに、僕らは殺人犯を見つけなければならない。

○『方舟』

著 夕木春央/講談社

敵はたった一人の無敵の人

○『爆弾』

著 呉勝浩/講談社

★中・高校生向き

☆不思議な扉にみちびかれ、少女の旅がはじまる。

○『すすめの戸締り』

著 新海誠/角川つばさ文庫